



建設ICTマスター養成講座
基礎養成編 選択分野別ソフトウェア実習

II

操作実習 [施工パッケージ型積算]

施工パッケージ型積算

施工パッケージ型積算のポイント

1. 施工パッケージ型積算の推移
2. 施工パッケージ型積算とは...
3. 積算単価の算定式
4. 施工パッケージ型の積上げ例

施工パッケージ型積算

施工パッケージ型積算の推移



平成24年10月～	導入
平成25年4月～	63施工P追加
平成25年10月～	145施工P適用
平成27年10月～	111施工P追加・改定
平成28年4月～	84施工P追加・改定
平成29年4月～	14施工P追加・改定
平成30年4月～	3施工P追加・6施工P削除
平成31年4月～	8施工P追加・2施工P削除
令和2年4月～	4施工P追加・8施工P削除

※積算業務の合理化・効率化 計 415施工P

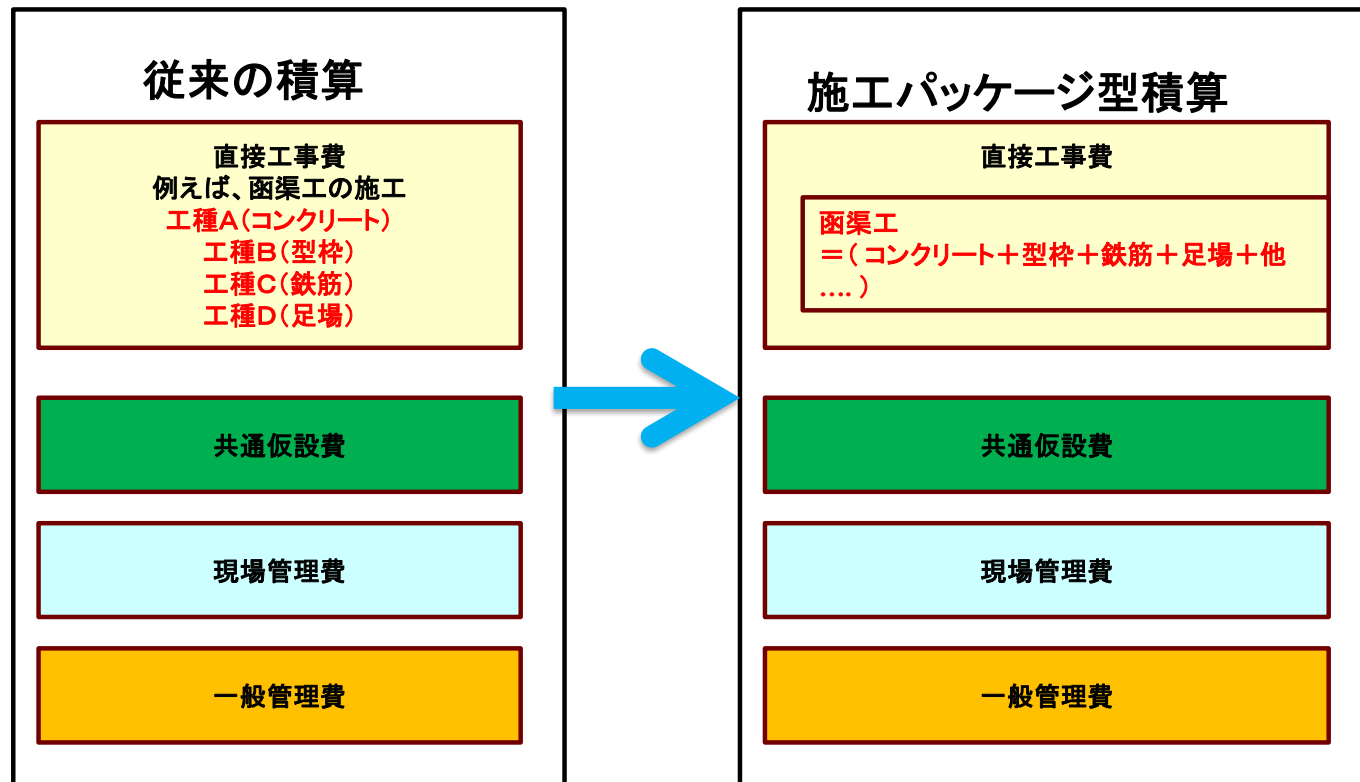
※施工パッケージ型積算方式の最新情報（国総研）

（ http://www.nilim.go.jp/lab/pbg/theme/theme2/theme_sekop.htm ）

※施工パッケージ導入工種は、標準歩掛から削除され、施工Pによる積算を行う必要がある

施工パッケージ型積算

施工パッケージ型積算とは...



共通仮設費,現場管理,一般管理費の計上方法は従来の積算と同じ。

施工パッケージ型積算

施工パッケージ型積算とは...(注意点)

踏掛版（施工パッケージ） H31 黄本P1174～

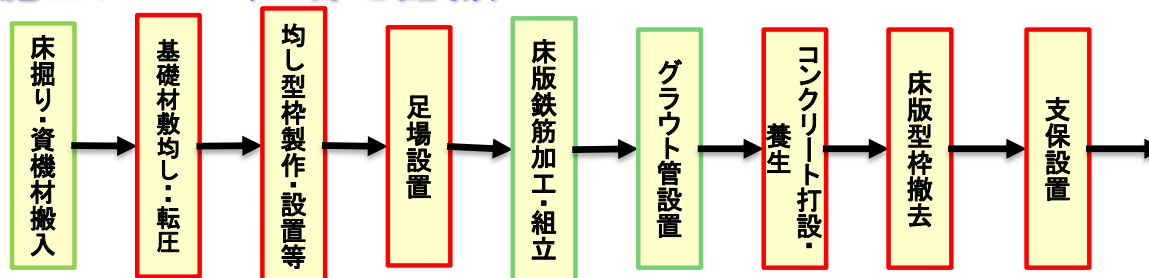
■適用できる範囲

- (1) 土被り9m以下で1層の現場打ちボックスカルバート
- (2) 土被り9m以下で1層2連の現場打ちボックスカルバート
- (3) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が340m以下の場合

■適用できない範囲

- (1) 河川工事で施工する樋門・樋管・水路等
- (2) アーチ型の場合で、支保にセントルを使用する場合

■施工フロー（一部を記載）



・本施工パッケージで対応しているのは、赤枠のみ

施工パッケージ型積算

積算単価の算定式

H31.4 宮崎県宮崎市

積算単価(P') = H30.4 東京標準単価(P) ×

$$\left[K \times \frac{\text{H31.4宮崎市地区 機械単価}}{\text{H30.4 東京 機械単価}} + R \times \frac{\text{H31.4宮崎市地区 労務単価}}{\text{H30.4 東京 労務単価}} + Z \times \frac{\text{H31.4宮崎市地区 材料単価}}{\text{H30.4 東京材料単価}} \right]$$

標準単価(P)は東京地区における基準年月日の施工単位当たりの単位であることから、地域及び時期の違いによる補正を行い積算単価(P')にします。

標準単価(P)から積算単価(P')への補正は、各施工パッケージの機労材構成比(標準単価に対する機械経費(K)、労務費(R)、材料費(Z)、市場単価(S)の金額構成比率)の比を用いて、上記の算出式から算出します。

施工パッケージ型積算

施工パッケージ型の積上げ例

単価表追加

内訳書追加

項目追加

削除

↑上に移動

共通単価表追加

下位表を開く

単価表挿入

内訳書挿入

項目挿入

↓下に移動

共通単価表挿入

工事工種体系ツリー

速動ファイル取込

単価検索

KeyID=[BC0210010000]

計 = 21,200,424 (円)

No.	名称(工事区分)	名称(工種)	名称(種別)	名称(細別)	名称(規格)	単位	数量	単価
1	築堤・護岸					式	1.000	0.00
2		河川土工				式	1.000	0.00
3			掘削工			式	1.000	0.00
4				掘削(採取土)		m3	1500.000	257.10
5				土砂等運搬(採取土)		m3	1500.000	492.60

Sample03

<工事工種体系ツリー>

事業区分: 河川改修

工事区分: 築堤・護岸

工種: 河川土工

種別: 掘削工

■ 1つ目

細別: 掘削(採取土)

変更点: 押土の有無: 無し

変更点: 施工数量: 50,000m3未満

■ 2つ目

細別: 土砂等運搬(採取土)

変更点: 運搬距離: 0.5km以下

施工パッケージ型積算



次は施工パッケージ型積算の体験コーナーです。